

TRAIL

トレイル 第46号 平成26年9月12日発行

いわき市商工労政課

全国は“駆け込み需要の反動も和らぎ、 緩やかな回復”が持続！ いわきも同様に“緩やかな回復”が持続！

“経済・景気四方山話”：

体験・実践的英語考

■ 全国の経済・景気

経済・景気の現況は、8月発表の「経済月例報告」（内閣府。データ期間：4～6月）の基調判断によると、“緩やかな回復基調が続いており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある”とされている。部門別には、個人消費は“持ち直しの動き”、雇用は“着実に改善”となっているものの、設備投資は“このところ弱い動き”、生産は“弱含み”、輸出は“横ばい”と、駆け込み需要の反動が和らぎつつあるとはいえ、持ち直しの動きは弱い。

一方、4～6月期の実質GDP（国内総生産）の成長率は、前期比1.7%減（季節調整済み。年率6.8%減）と、その減少幅は東日本大震災時（11年1～3月期）以来の大きさとなった。政府はこの減少について、“緩やかな回復基調が続いており反動減の範囲内”とし、夏以降は“緩やかな回復が続く”としている。

「景気動向指数」（内閣府）でも、6月の一致指数は駆け込み需要の反動で2か月ぶりに低下したものの、先行指数は、5か月ぶりに改善しており、景気は上向き可能性が高いことを示している。ただ、7月のデータが入ってきた8月末、悪天候による消費の鈍化など、“回復に足踏み感”が出てきており、15年10月に予定されている消費税率10%への引上げの最終判断に向けて、11月公表の7～9月GDPの動向が注目される。

■ いわき市の経済・景気

今期、耐久消費財で4月の消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動がみられたものの、全体としては、緩やかな回復が持続している。

部門別にみると、耐久消費財のうち自動車新規登録台数は3四半期ぶりに、また新設住宅着工戸数では2四半期ぶりに前年水準を下回った。反面、個人消費の大型小売店等販売額は、消費税率引き上げ後も4四半期連続で前年水準を上回り、また企業活動ではこのところ減少傾向にあった大口電力がやや持ち直しており、雇用面の新規求人倍率等も前年水準を上回っている。

景気の先行きについては、公共工事が大きく減少して需要面での牽引が弱いこと、中小企業

DIが業種別も総合もそろって悪化していることなどから、不安が拭い去れない。

（商工労政課）

【巻頭言】

目次

全国は“駆け込み需要の反動が和らぎ、
緩やかな回復”が持続！

いわきも同様に“緩やかな回復”が持続！

“経済・景気四方山話”：体験・実践的英語考 …… 1

I いわき市の経済の動き

1 概況（平成26年第Ⅱ期4～6月の状況） …… 3

2 主要経済データ …… 5

II いわき市の景気の動き

（平成26年第Ⅱ四半期4～6月の状況）

1 CI（コンポジット・インデックス） …… 9

2 DI（ディフュージョン・インデックス） …… 12

【参考】景気動向指数（DI）利用の手引き …… 13

国・県の動き …… 15

■ 経済・景気四方山話：

体験・実践的英語考

本号は英語を取り上げる。グループの中に英語の上手な人が1人いると他の人は黙ってしまう、という現象は良く見られる。だが今後は、多少のことはさておいて、気にしないでどんどん話した方がいい、ということをお願いしたい（英

語の勉強をしなくても良いということではない。むしろ大いに勉強すべしだ！)。

まず失敗談を。APEC・WGでのこと、全体会議が終了し、次に予定されていた **Technical Meeting** は関係ないと思って退出しようとする と諫められた。実務者会議を技術者会議と誤認した所為である。**Technical** には実務の意味がある。このように英語の意味・用法等が分からなくて意思疎通を欠く例は少なくない。**Free from Smoking** は喫煙が許されているのではなく、喫煙から逃れられる禁煙の意味である。**I miss you** (会いたかった) の **miss** もわかってしまえばそれまでだが初めは誤解する。映画のプライベート・ライアン (**Private Ryan**) は“ライアンさんの私事”ではなく“ライアン二等兵”である。**Private** に二等兵の意味がある。

最近目にするのが、英語と日本語では肯定・否定の仕方が逆なために起こる老若間の誤解である。「これ嫌いでしょ？」と否定形で聞かれ、“嫌い”と答えたい場合、①「はい、嫌いです」と②「いいえ、嫌いです」のどちらで答えるか。①は古くからの日本的用法で、②は最近の英語的用法であるが、最近では後者を使う人が多くなっていて、しばしば老若間で混乱が起こる(英語的用法では主文が否定であればすべてNoで答える)。特に“嫌いです”を省略して「はい」か「いいえ」だけで答えた場合は、意思が真逆になってしまう。

ついで発音。最も問題なのは“l”と“r”。この発音ができなくて英語嫌いになった人は多い。だからと言って口をつぐむことはない。日本人がこの発音に弱いのは世界的に有名で(韓国の人が濁音に弱いのと同じ)、相手が理解してくれるし、文脈やアクションで通じあえる。一緒に歩いていて **Turn right** (右に曲がろう) を **Turn light** (灯を向けて) と言っても分かってくれる。これよりも“o”の方が問題だ。英語の“o”は「オ」ではなく「オウ」*1だから **Hotel** は「ホテル」ではなく「ホウテル」でないと分かってくれない。同じ発音に関して APEC・WGでの失敗談を。ある国の代表スピーチで「データ」と「バス」の単語が分からなく内容についていけなくなった。少したって配布資料で「データ: **data**」と「ベース: **base**」であることが分り追いつけた。このように母音をアルファベット読み(a→エイ)しないでそのまま発音(a→ア)する例は多い。例えばオーストラリア英語*2の **highway**→ハイワイ) やアラブ英語の「**anyway**→アニワイ)、等である。また“r”

は、欧州では「ル」を発音する(例: **Mister** はミストール)。アジア英語の発音も慣れないと大変。例えばシンガポール英語で、**car park** は「カパ」としか聞こえない。

*1 大川: **Okawa** は「オカワ」ではなく「オウカワ」である。なお **Ohkawa** は「オーカワ」となる。

*2 映画マイ・フェア・レディはロンドン下町のコックニー訛の矯正がテーマである。**The rain**(レイン→ライン) **in Spain** (スペイン→スパイン) ……(後者がコックニー訛り)。オーストラリア英語はこの系統をひく。米国内部にも多い。

また英語と米語の問題。双方には多くの違いがあるが、あまり神経質になる必要はない。欧州では米語一辺倒でない。例えば「**money**→モネ」が多いし、**color**(色)は「カラー」でなく「コラー」「コロール」である。興味深い映画を紹介する。シーンは英、米、独、仏、アラブ等出身者からなる強盗団。それぞれ既述のような様々な発音の英語が飛び交うが会話はスムーズに展開。そして最後に英国人のリーダーが「**Say in English!**」(英語で話してよ!)とジョークで締めくくる。このような状況は日常茶飯事である。国際会議ですら同じである。要は「発音を気にしないで話せ!」ということだ。

さらに英語に関する諸常識。国名等には注意が必要。世界各国は **countries and regions** と必ず **regions** を付けなければならない。**Taiwan** は禁句で **Chinese Taipei** に。英国人は **English** よりも **British** と呼ばれることが多くなっている(国名は **UK**)、等々。

それにも増して必要なのは外国人に対する我々の姿勢である。立場を逆にすれば分かるが、ゆっくり・はっきりとした日本語、方言や専門用語を避けるなどの気遣いや、強勢*3を入れてあげる優しさが必要である。例えば **Iwaki** は、Iか waのどちらかに強勢をいれて **Iwaki** か **Iwaki** と言ってあげた方が良い。

最後に前置詞の便利な使い方をお勧めする。**to you, for him, with me, on the table, in the train** などと前置詞を添えるだけで、正確な英語に変わる(例: 相手を指さして **you** という代わりに **to you**。自分には **for me** というように)。

*3 強く発声するアクセントをいう。日本語は抑揚がないが、英語には必ず強勢がある。「おもてなし」でも「**お**もてなし」と**お**を強く発声している。

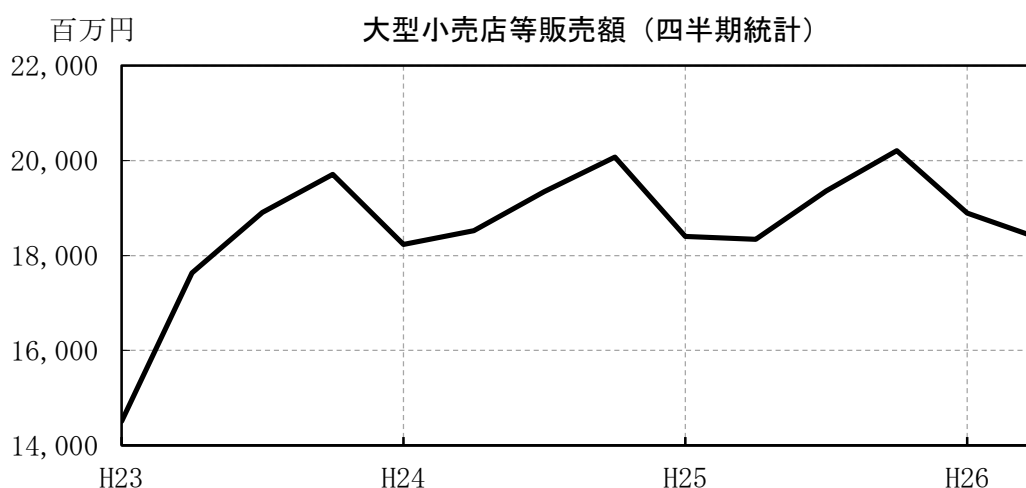
(東日本国際大学名誉教授 大川信行)

I いわき市の経済の動き

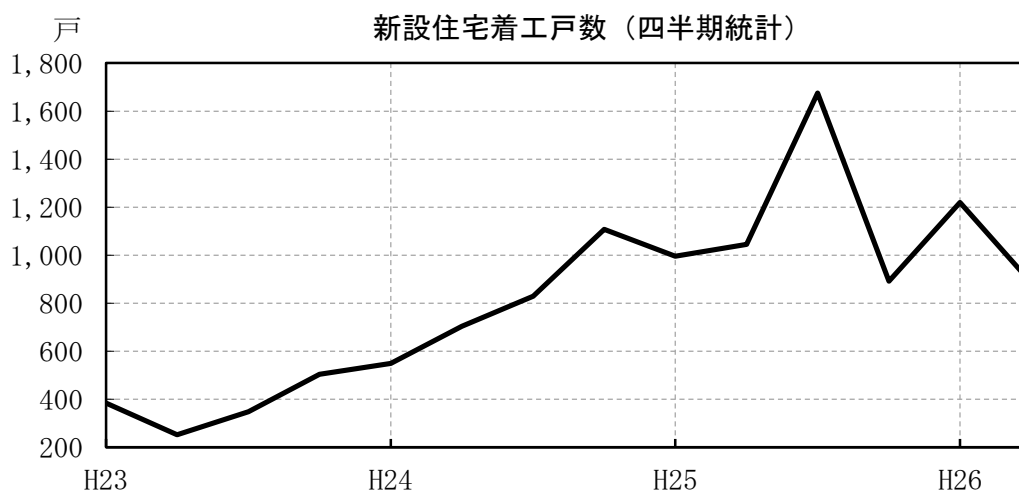
1 概況（平成26年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

(1) 需要動向

- 【個人消費】 ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の大型小売店等販売額は約184億円（前年同期比0.2%の増加）となり、4四半期連続で前年の水準を上回った。
- 自動車新規登録台数は4,777台（前年同期比14.0%の減少）となり、三四半期ぶりに前年の水準を下回った。

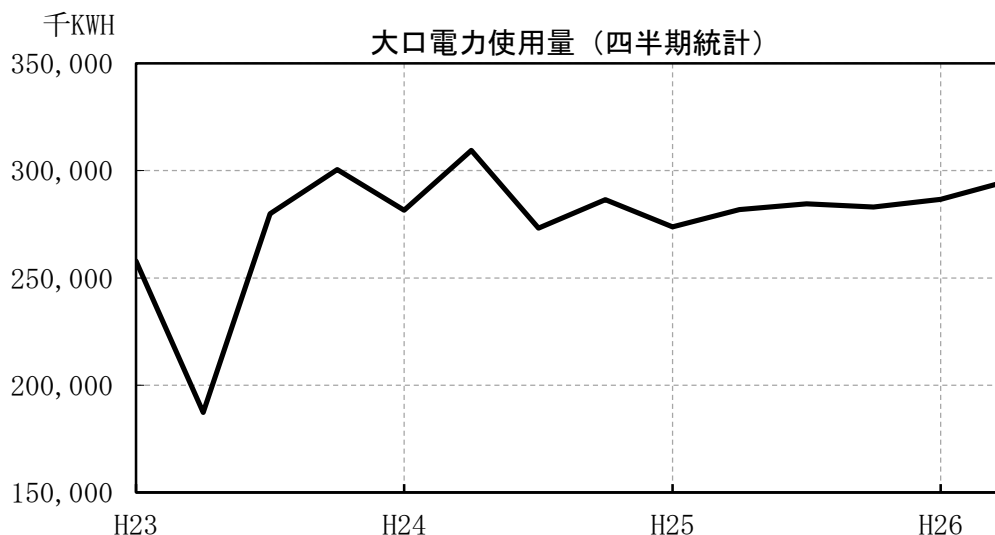


- 【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は885戸（前年同期比15.3%の減少）となり、二四半期ぶりに前年の水準を下回った。
- 6月の中小企業DI調査の建設業DIは-10.0となり、前回（3月 -18.2）より8.2ポイント改善した（0が横ばいの水準）。



(2) 企業動向

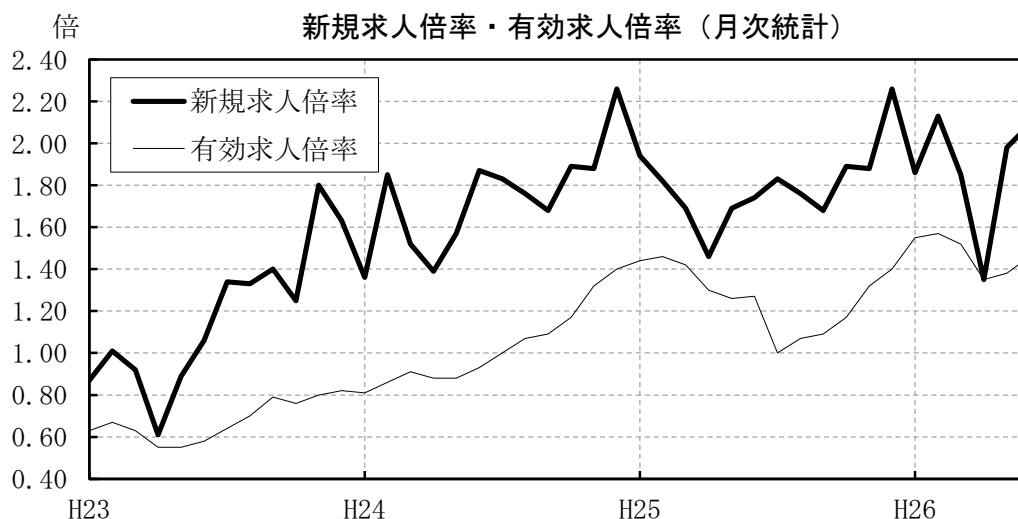
- 【生産活動】** ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の大口電力使用量は、前年同期比4.7%の増加となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。
- 6月の中小企業DI調査の製造業DIは11.1となり、前回（3月 33.3）より22.2ポイント悪化した。



- 【企業活動】** ○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は1件となり、前年同期と同水準となった。
- 手形交換高は約380億円（前年同期比6.3%の減少）となり、3四半期連続で前年の水準を下回った。
- 6月の中小企業DI調査の総合DIは-6.3となり、前回（3月 20.0）より26.3ポイント悪化した。

(3) 雇用情勢

- 【雇用】** ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の雇用保険受給者実人員は3,860人（前年同期比14.0%の減少(=改善)）となり9四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。
- 6月の新規求人倍率は2.09倍（前年同月より0.35ポイントの上昇）となり、2ヵ月連続で前年の水準を上回った。
- 6月の有効求人倍率は1.46倍（前年同月より0.19ポイントの上昇）となり、平成22年5月以来50ヵ月連続で前年の水準を上回った。



2 主要経済データ

区分 年月	需要動向										企業動向	
	個人消費				建設需要						生産活動	
	大型小売店等 販売額		自動車新規 登録台数		新設住宅 着工戸数		建築確認申請 受付件数		公共工事等 受注額		大口電力 使用量	
前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	前年 同期比 (%)	
【年次統計】												
平成21年	69,504	-8.3	19,189	-7.1	1,694	-7.8	1,218	-14.0	17,959	-0.3	1,120,337	-23.9
22年	68,605	-1.3	20,609	7.4	1,712	1.1	1,211	-0.6	12,637	-29.6	1,245,243	11.1
23年	70,755	3.1	16,906	-18.0	1,489	-13.0	1,050	-13.3	8,826	-30.2	1,025,336	-17.7
24年	76,173	7.7	25,637	51.6	3,191	114.3	1,982	88.8	28,684	225.0	1,150,695	12.2
25年	76,307	0.2	24,954	-2.7	4,608	44.4	2,215	11.8	52,580	83.3	1,123,080	-2.4
【四半期統計】												
平成24年 III	19,343	2.3	6,216	33.7	829	138.2	518	59.4	7,102	158.5	273,215	-2.4
IV	20,071	1.8	5,232	6.4	1,108	119.8	577	55.9	6,734	81.1	286,495	-4.7
平成25年 I	18,401	0.9	7,295	-7.3	996	81.1	481	26.2	9,634	29.0	273,742	-2.8
II	18,344	-1.0	5,553	-12.1	1,045	48.4	558	10.3	13,323	80.5	281,781	-8.9
III	19,357	0.1	5,970	-4.0	1,675	102.1	602	16.2	9,455	33.1	284,536	4.1
IV	20,205	0.7	6,136	17.3	892	-19.5	574	-0.5	20,167	199.5	283,021	-1.2
平成26年 I	18,893	2.7	8,975	23.0	1,220	22.5	448	-6.9	12,245	27.1	286,584	4.7
II	18,375	0.2	4,777	-14.0	885	-15.3	478	-14.3	8,380	-37.1	295,115	4.7
【月次統計】												
平成24年 7月	6,503	0.3	2,434	60.4	264	207.0	202	94.2	1,090	50.2	93,241	-2.9
8月	6,805	2.9	1,799	38.9	195	-2.0	168	57.0	3,888	334.0	85,883	-3.8
9月	6,035	3.8	1,983	7.9	370	487.3	148	29.8	2,123	88.7	94,091	-0.5
10月	6,222	-0.1	1,804	5.6	365	112.2	222	77.6	3,125	191.8	96,749	-2.3
11月	5,958	3.0	1,891	8.6	366	95.7	179	43.2	1,471	10.1	95,003	-6.2
12月	7,891	2.5	1,537	4.8	377	160.0	176	46.7	2,138	63.1	94,743	-5.4
平成25年 1月	6,251	0.5	2,006	-3.2	164	-38.8	151	16.2	2,208	171.9	89,259	-6.4
2月	5,619	-1.4	2,275	-6.7	367	169.9	154	5.5	1,960	-60.1	89,148	-0.4
3月	6,531	3.4	3,014	-10.3	465	218.5	176	67.6	5,467	212.7	95,335	-1.4
4月	6,074	-1.7	1,710	-9.5	279	13.9	191	24.0	2,220	-8.5	93,236	-10.9
5月	6,093	-2.0	1,779	-12.1	316	32.2	173	3.6	10,342	346.0	95,484	-11.3
6月	6,176	0.8	2,064	-14.3	450	104.5	194	4.9	761	-71.1	93,061	-4.1
7月	6,417	-1.3	2,109	-13.4	957	262.5	215	6.4	1,422	30.4	97,426	4.5
8月	6,819	0.2	1,675	-6.9	388	99.0	172	2.4	4,239	9.0	89,170	3.8
9月	6,121	1.4	2,186	10.2	330	-10.8	215	45.3	3,795	78.7	97,940	4.1
10月	6,243	0.3	1,941	7.6	302	-17.3	214	-3.6	3,501	12.0	96,906	0.2
11月	6,057	1.7	2,219	17.3	351	-4.1	187	4.5	13,255	801.0	89,139	-6.2
12月	7,905	0.2	1,976	28.6	239	-36.6	173	-1.7	3,411	59.5	96,976	2.4
平成26年 1月	6,209	-0.7	2,511	25.2	272	65.9	144	-4.6	4,520	104.8	94,890	6.3
2月	5,692	1.3	2,678	17.7	578	57.5	146	-5.2	2,244	14.5	92,104	3.3
3月	6,992	7.1	3,786	25.6	370	-20.4	158	-10.2	5,480	0.2	99,590	4.5
4月	5,762	-5.1	1,429	-16.4	180	-35.5	176	-7.9	578	-73.9	99,370	6.6
5月	6,301	3.4	1,505	-15.4	302	-4.4	153	-11.6	6,821	-34.0	89,994	-5.7
6月	6,312	2.2	1,843	-10.7	403	-10.4	149	-23.2	981	28.8	105,751	13.6
出典	市商工労政課		いわき自動車検査登録事務所・全国軽自動車協会連合会いわき支所		県土木部		市建築指導課		国土交通省東北地方整備局・福島県いわき農林事務所・いわき建設事務所・小名浜港湾事務所・いわき市の各公共工事入札結果		東北電力 いわき営業所	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区 分	企 業 動 向											
	生 産 活 動		企 業 活 動									
	小名浜港輸入 通関実績		法人市民税 調定額		信用保証 承諾額		信用保証協会 代位弁済		手形交換高		不渡手形金額	
	年 月	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)	前 年 同期比 (%)
【年次統計】												
平成21年	227,031	-49.3	1,969	-41.3	34,021	29.5	1,310	20.2	172,567	-14.0	866.4	2,610.1
22年	317,415	39.8	2,999	52.3	22,709	-33.2	734	-43.9	150,870	-12.6	91.8	-89.4
23年	200,303	-36.9	2,912	-2.9	39,757	75.1	811	10.4	138,291	-8.3	137.2	49.5
24年	344,014	71.7	4,177	43.4	17,082	-57.0	402	-50.4	149,578	8.2	2.3	-98.4
25年	345,674	0.5	4,516	8.1	15,359	-10.1	815	102.8	149,289	-0.2	0.3	-88.9
【四半期統計】												
平成24年 III	72,802	13.0	740	-6.1	2,776	-76.8	125	-15.8	37,199	-0.5	0.0	-100.0
IV	80,284	32.2	1,403	45.8	3,544	-48.2	54	-67.2	35,695	-3.8	2.3	-
平成25年 I	85,432	-16.2	532	88.1	3,820	-54.8	375	494.8	36,151	1.3	0.0	-
II	78,742	-11.5	1,810	3.4	3,517	51.9	48	-70.1	40,528	-1.2	0.0	-
III	89,140	22.4	799	7.9	3,586	29.2	197	57.5	39,657	6.6	0.0	-
IV	92,360	15.0	1,374	-2.0	4,436	25.2	195	263.3	32,954	-7.7	0.0	-100.0
平成26年 I	91,008	6.5	543	2.1	4,056	6.2	85	-77.3	34,177	-5.5	0.0	-
II	87,114	10.6	1,781	-1.6	3,441	-2.2	69	44.0	37,992	-6.3	0.0	-
【月次統計】												
平成24年 7月	15,712	-16.2	351	7.0	916	-83.1	6	-77.3	14,531	43.2	0.0	-
8月	34,512	136.1	276	48.9	701	-81.2	103	81.3	13,766	-11.4	0.0	-100.0
9月	22,578	-27.3	113	-59.0	1,159	-58.3	16	-74.8	8,901	-23.9	0.0	-100.0
10月	30,731	32.3	203	79.5	777	-63.5	14	-78.7	13,443	2.6	0.0	-
11月	26,679	55.0	1,063	37.1	1,159	-51.2	5	-91.9	11,797	-3.5	2.3	-
12月	22,874	12.7	136	86.2	1,608	-31.2	34	-3.3	10,455	-11.2	0.0	-
平成25年 1月	18,632	-40.3	105	88.7	805	-51.2	53	93.9	14,078	7.5	0.0	-
2月	32,181	-10.7	256	86.3	1,278	-43.8	149	349.7	11,765	-1.3	0.0	-
3月	34,619	-0.4	171	90.4	1,737	-61.6	174	6,017.2	10,308	-3.3	0.0	-
4月	29,367	3.4	152	38.5	971	110.9	9	-61.0	14,923	17.0	0.0	-
5月	37,014	-1.4	582	-4.7	1,193	35.0	39	-66.0	13,934	-17.3	0.0	-
6月	12,361	-46.3	1,077	4.4	1,353	39.3	0	-100.0	11,671	2.4	0.0	-
7月	23,409	49.0	369	5.1	1,230	34.2	0	-100.0	15,144	4.2	0.0	-
8月	39,818	15.4	309	11.7	1,197	70.8	23	-77.3	11,257	-18.2	0.0	-
9月	25,913	14.8	121	7.4	1,160	0.0	173	982.8	13,256	48.9	0.0	-
10月	26,184	-14.8	160	-21.4	1,380	77.5	187	1,189.5	11,057	-17.7	0.0	-
11月	25,250	-5.4	1,106	4.0	1,318	13.7	5	8.1	9,306	-21.1	0.0	-100.0
12月	40,926	78.9	109	-20.2	1,739	8.1	3	-92.3	12,591	20.4	0.0	-
平成26年 1月	25,939	39.2	109	4.2	1,190	47.9	0	-100.0	12,322	-12.5	0.0	-
2月	34,525	7.3	209	-18.2	1,284	0.5	0	-100.0	10,241	-13.0	0.0	-
3月	30,544	-11.8	225	31.0	1,582	-8.9	85	-50.8	11,614	12.7	0.0	-
4月	31,424	7.0	138	-8.9	845	-12.9	1	-94.0	11,885	-20.4	0.0	-
5月	27,253	-26.4	624	7.3	1,159	-2.9	67	73.0	10,671	-23.4	0.0	-
6月	28,437	130.1	1,019	-5.3	1,438	6.2	2	-	15,436	32.3	0.0	-
出 典	横浜税関		市市民税課 (法人税割)		福島県信用保証協会				いわき手形交換所			

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてⅠは1～3月、Ⅱは4～6月、Ⅲは7月～9月、Ⅳは10～12月を示す。

区分 年月	企業動向				雇用						その他			
	企業活動				新規求人倍率		有効求人倍率		雇用保険受給者実人員		入湯税調定人員		高速道路出入交通量	
	企業倒産件数 (件)	前年同期比 (%)	企業倒産負債総額 (百万円)	前年同期比 (%)	(倍)	前年同期比 (%)	(倍)	前年同期比 (%)	(人)	前年同期比 (%)	(人)	前年同期比 (%)	(千台)	前年同期比 (%)
【年次統計】														
平成21年	11	-64.5	4,958	-70.1	0.73	-0.21	0.40	-0.29	38,365	83.7	757,737	-4.1	8,026	5.5
22年	14	27.3	7,398	49.2	0.87	0.14	0.53	0.13	27,312	-28.8	745,323	-1.6	8,343	4.0
23年	23	64.3	7,472	1.0	1.24	0.37	0.72	0.19	55,181	102.0	307,058	-58.8	11,837	41.9
24年	6	-73.9	1,356	-81.9	1.77	0.53	1.13	0.41	41,749	-24.3	596,938	94.4	12,925	9.2
25年	4	-33.3	477	-64.8	1.91	0.14	1.41	0.28	17,387	-58.4	726,877	21.8	11,445	-11.4
【四半期統計】														
平成24年 III	2	100.0	56	-20.0	-	-	-	-	8,996	-50.1	175,084	532.6	3,005	-21.9
IV	1	-75.0	320	-88.9	-	-	-	-	5,211	-68.6	182,001	383.9	2,870	-29.2
平成25年 I	2	-33.3	239	-75.6	-	-	-	-	4,000	-73.9	157,335	92.8	2,675	-38.8
II	1	-	228	-	-	-	-	-	4,490	-63.2	187,640	18.6	2,817	5.1
III	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	4,715	-47.6	194,067	10.8	3,057	1.7
IV	1	0.0	10	-96.9	-	-	-	-	4,182	-19.7	187,835	3.2	2,897	0.9
平成26年 I	1	-50.0	30	-87.4	-	-	-	-	3,716	-7.1	186,985	18.8	2,740	2.4
II	1	0.0	200	-12.3	-	-	-	-	3,860	-14.0	181,861	-3.1	2,878	2.2
【月次統計】														
平成24年 7月	0	-	0	-	1.83	0.49	1.00	0.36	3,396	-43.2	51,503	343.7	973	-22.4
8月	1	0.0	30	-57.1	1.76	0.43	1.07	0.37	3,011	-51.2	54,456	565.0	1,080	-19.6
9月	1	-	26	-	1.68	0.28	1.09	0.30	2,589	-55.8	69,125	777.0	952	-23.8
10月	0	-100.0	0	-100.0	1.89	0.64	1.17	0.41	2,397	-57.3	57,264	682.2	972	-26.3
11月	0	-	0	-	1.88	0.08	1.32	0.52	1,462	-72.9	56,165	379.3	958	-26.7
12月	1	0.0	320	540.0	2.26	0.63	1.40	0.58	1,352	-75.7	68,572	269.2	940	-34.3
平成25年 1月	1	0.0	200	-77.8	1.94	0.58	1.44	0.63	1,370	-75.2	48,854	134.9	866	-37.1
2月	0	-100.0	0	-100.0	1.82	-0.03	1.46	0.60	1,330	-74.1	55,686	118.9	814	-40.0
3月	1	-	39	-	1.69	0.17	1.42	0.51	1,300	-72.2	52,795	49.2	995	-39.2
4月	0	-	0	-	1.46	0.07	1.30	0.42	1,343	-69.4	65,169	78.8	917	5.3
5月	0	-	0	-	1.69	0.12	1.26	0.38	1,577	-61.2	74,350	3.2	982	6.2
6月	1	-	228	-	1.74	-0.13	1.27	0.34	1,570	-58.2	48,121	-3.2	918	3.8
7月	0	-	0	-	1.95	0.12	1.31	0.31	1,642	-51.6	59,893	16.3	991	1.9
8月	0	-100.0	0	-100.0	2.08	0.32	1.37	0.30	1,558	-48.3	68,400	25.6	1,112	3.0
9月	0	-100.0	0	-100.0	1.80	0.12	1.37	0.28	1,515	-41.5	65,774	-4.8	954	0.1
10月	0	-	0	-	2.04	0.15	1.40	0.23	1,485	-38.0	61,808	7.9	956	-1.6
11月	1	-	10	-	2.39	0.51	1.50	0.18	1,346	-7.9	64,984	15.7	978	2.0
12月	0	-100.0	0	-100.0	2.50	0.24	1.59	0.19	1,351	-0.1	61,043	-11.0	962	2.4
平成26年 1月	0	-100.0	0	-100.0	1.86	-0.08	1.55	0.11	1,303	-4.9	59,257	21.3	917	5.8
2月	0	-	0	-	2.13	0.31	1.57	0.11	1,184	-11.0	71,452	28.3	759	-6.7
3月	1	0.0	30	-23.1	1.85	0.16	1.52	0.10	1,229	-5.5	56,276	6.6	1,065	7.0
4月	1	-	200	-	1.35	-0.11	1.35	0.05	1,211	-9.8	70,383	8.0	939	2.4
5月	0	-	0	-	1.98	0.29	1.38	0.12	1,287	-18.4	51,369	-30.9	1,001	2.0
6月	0	-100.0	0	-100.0	2.09	0.35	1.46	0.19	1,362	-13.2	60,109	24.9	937	2.1
出典	東京商工リサーチ (負債総額1,000万円以上)				ハローワーク平 (年間倍率は年度ベースの値)						市市民税課		株式会社 ネクスコ・トール 東北いわき 事業部	

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。

四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区分 年月	中小企業DI調査					
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合 (全業種)
【年次統計】						
平成21年	-	-	-	-	-	-
22年	-	-	-	-	-	-
23年	-	-	-	-	-	-
24年	-	-	-	-	-	-
25年	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】						
平成24年 III	-	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	-	-
平成25年 I	-	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	-	-
平成26年 I	-	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	-	-
【月次統計】						
平成24年 7月	-	-	-	-	-	-
8月	-	-	-	-	-	-
9月	-23.3	0.0	18.2	-9.1	0.0	-8.3
10月	-	-	-	-	-	-
11月	-	-	-	-	-	-
12月	-29.1	16.7	7.7	-37.5	16.7	-11.4
平成25年 1月	-	-	-	-	-	-
2月	-	-	-	-	-	-
3月	-44.5	16.6	-13.3	44.5	0.0	-13.9
4月	-	-	-	-	-	-
5月	-	-	-	-	-	-
6月	-24.2	0.0	7.1	-30.0	-25.0	-16.2
7月	-	-	-	-	-	-
8月	-	-	-	-	-	-
9月	-20.7	20.0	-7.1	-18.2	-11.1	-11.0
10月	-	-	-	-	-	-
11月	-	-	-	-	-	-
12月	-6.4	22.2	13.3	10.0	-25.0	0.0
平成26年 1月	-	-	-	-	-	-
2月	-	-	-	-	-	-
3月	33.3	-18.2	0.0	77.8	0.0	20.0
4月	-	-	-	-	-	-
5月	-	-	-	-	-	-
6月	11.1	-10.0	-16.6	-42.8	-12.5	-6.3
出典	福島県産業振興センター (前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

II いわき市の景気の動き（景気動向指数）

（平成26年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

1 CI（コンポジット・インデックス）

(1) 概要

6月のCIは、先行指数が105.2、一致指数が107.6、遅行指数が122.4となった。

(2) 指数別の動向（指数は平成22年の水準を100とする）

【先行指数】6月は105.2ポイントで、2ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月ぶり）、企業倒産件数（逆）（2ヵ月連続）等の5指標、マイナスの指標は、中小企業DI（全業種）（3ヵ月連続）、建築確認申請受付件数（2ヵ月連続）等の3指標であった。

【一致指数】6月は107.6ポイントで、3ヵ月ぶりに上昇に転じた。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業出荷指数（2ヵ月ぶり）、大口電力使用量（3ヵ月ぶり）等の6指標、マイナスの指標は、大型小売店等販売額（2ヵ月ぶり）の1指標であった。

【遅行指数】6月は122.4ポイントで、3ヵ月ぶりに上昇に転じた。

寄与度がプラスの指標は、手形交換高（3ヵ月ぶり）、入湯税調定人員（2ヵ月ぶり）等の4指標、マイナスの指標は、鉱工業在庫率指数（2ヵ月ぶり）、法人市民税調定額（3ヵ月連続）等の3指標であった。

※CIの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

(3) 指数の推移及び寄与度の内訳（CIの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成22年=100）

区 分	平成25年						平成26年						
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
先行指数（C.I.）	106.0	105.8	105.5	105.2	105.5	105.9	106.3	106.6	106.3	104.9	105.1	105.2	
前月差（ポイント）（寄与度合計）	0.58	-0.17	-0.33	-0.27	0.32	0.40	0.36	0.38	-0.36	-1.42	0.18	0.17	
先行系列寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	-0.09	0.12	-0.15	-0.23	0.35	0.30	-0.25	-0.14	0.17	-0.46	0.09	0.10
	2. 新設住宅着工戸数	0.38	-0.43	-0.17	-0.20	0.07	-0.15	0.20	0.36	-0.40	-0.34	0.20	0.14
	3. 建築確認申請受付件数	-0.07	-0.09	0.20	-0.16	-0.06	-0.11	-0.09	-0.03	0.00	0.02	-0.11	-0.19
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	0.32	-0.01	-0.40	0.08	0.16	0.17	0.39	-0.16	-0.10	0.18	-0.40	0.40
	5. 企業倒産件数（逆）	0.02	-0.03	0.38	0.01	-0.41	0.09	-0.02	0.39	-0.42	-0.41	0.03	0.24
	6. 新規求人倍率	0.09	0.31	-0.37	0.26	0.23	-0.29	0.11	-0.10	-0.06	-0.43	0.37	-0.14
	7. 中小企業DI（全業種）	-0.00	-0.00	0.23	-0.01	-0.01	0.38	-0.02	-0.02	0.38	-0.03	-0.03	-0.43
	8. 一致指数トレンド成分	-0.06	-0.04	-0.06	-0.02	-0.02	0.02	0.04	0.07	0.07	0.06	0.04	0.05
一致指数（C.I.）	106.6	106.8	106.1	106.2	106.1	106.8	106.9	106.6	107.7	106.6	106.0	107.6	
前月差（ポイント）（寄与度合計）	0.14	0.20	-0.76	0.16	-0.14	0.72	0.08	-0.23	1.02	-1.07	-0.54	1.52	
一致系列寄与度内訳	1. 大型小売店等販売額	-0.13	0.10	0.09	-0.05	0.09	-0.08	-0.04	0.15	0.39	-0.41	0.45	-0.05
	2. 大口電力使用量	-0.15	0.01	0.13	-0.18	-0.46	0.40	0.04	0.10	0.04	-0.14	-0.46	0.39
	3. 鉱工業生産指数	0.08	0.18	-0.31	0.21	-0.13	-0.22	-0.03	-0.05	0.26	-0.15	-0.21	0.31
	4. 鉱工業出荷指数	0.18	0.00	-0.36	0.21	-0.01	0.02	0.45	-0.14	0.18	0.05	-0.42	0.40
	5. 小名浜港輸入通関実績	0.44	0.17	-0.18	-0.01	0.06	0.31	-0.38	0.08	-0.08	0.06	-0.15	0.16
	6. 高速道路出入交通量	-0.10	-0.33	0.18	-0.14	0.17	0.05	0.21	-0.48	0.37	-0.20	-0.07	0.01
	7. 有効求人倍率	-0.18	0.05	-0.31	0.12	0.15	0.23	-0.17	0.11	-0.14	-0.29	0.32	0.30
遅行指数（C.I.）	122.9	123.7	123.6	124.7	123.2	121.5	122.9	122.4	123.1	121.6	120.8	122.4	
前月差（ポイント）（寄与度合計）	0.23	0.85	-0.16	1.17	-1.52	-1.71	1.41	-0.55	0.75	-1.57	-0.75	1.60	
遅行系列寄与度内訳	1. 鉱工業在庫率指数	-0.30	0.31	1.96	1.45	-0.96	-0.90	-1.77	-0.09	1.78	-0.87	1.45	-1.12
	2. 法人市民税調定額	0.25	-0.18	-0.07	-0.97	0.55	-0.39	0.89	-0.60	1.18	-0.70	-0.07	-0.54
	3. 信用保証承諾額	-0.16	1.40	-1.84	1.93	-1.84	-0.13	1.55	-1.73	-0.26	-0.08	0.44	0.42
	4. 雇用保険受給者実人員（逆）	-0.63	0.02	-0.60	0.13	0.71	0.19	0.74	1.35	-1.92	0.35	-1.47	-0.26
	5. 手形交換高	-0.04	-1.01	1.88	-1.52	-0.21	0.90	-0.78	0.12	0.94	-0.99	-0.31	1.86
	6. 入湯税調定人員	1.18	0.35	-1.41	0.18	0.24	-1.40	0.73	0.31	-1.05	0.66	-0.85	1.18
	7. 一致指数トレンド成分	-0.07	-0.04	-0.07	-0.03	-0.02	0.02	0.05	0.08	0.08	0.07	0.04	0.06

注1) CIはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

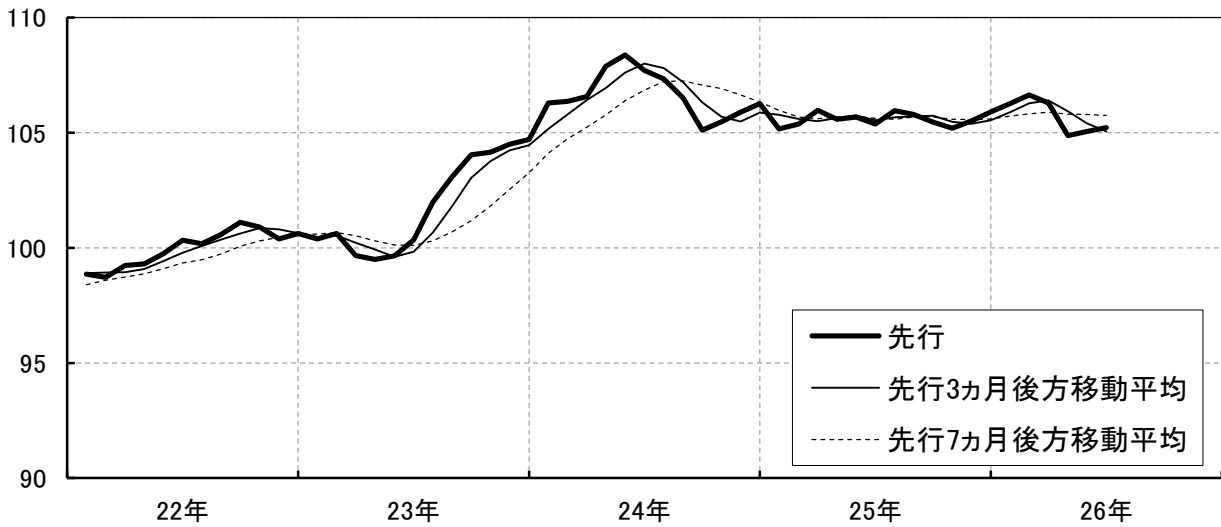
注2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

注3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

(4) CIの推移

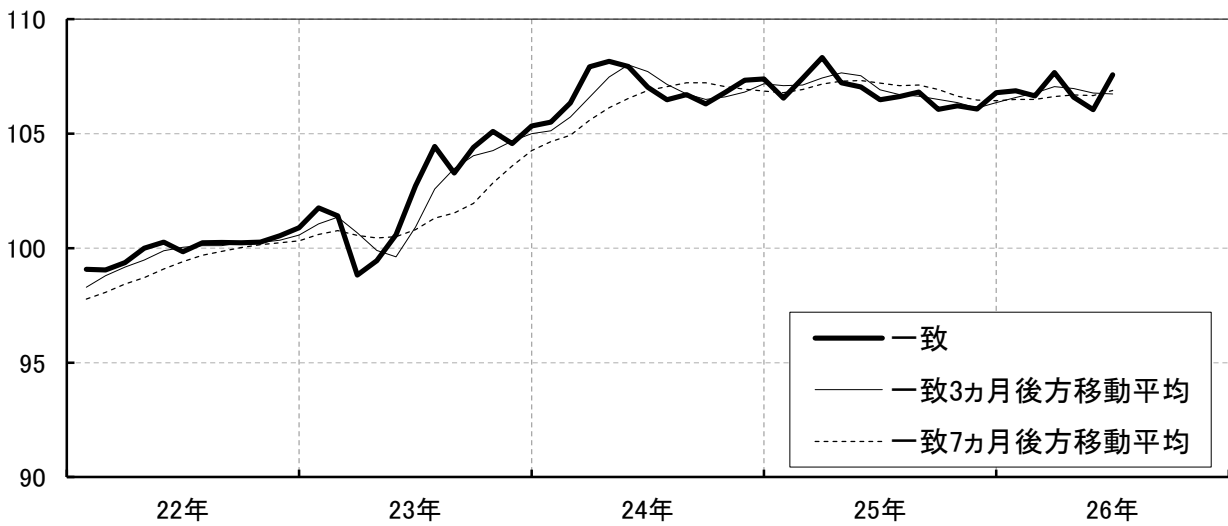
・先行指数の推移

(平成22年=100)



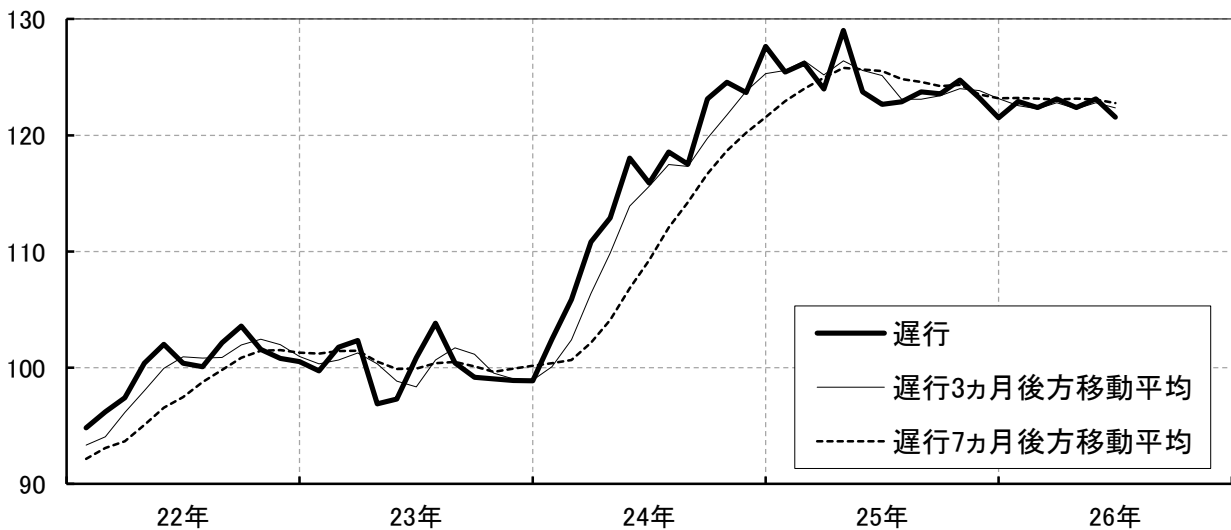
・一致指数の動向

(平成22年=100)



・遅行指数の動向

(平成22年=100)



(5) CIデータ

・先行指数

(平成22年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
17	98.9	99.1	99.6	100.3	100.6	100.6	99.9	99.8	99.4	98.9	99.4	99.1
18	100.4	100.0	99.5	99.4	98.9	98.7	99.2	99.4	99.8	99.2	99.3	100.0
19	98.9	99.2	98.8	98.5	99.8	99.0	98.2	98.5	98.1	98.3	98.7	98.9
20	98.5	98.6	98.7	98.7	98.9	98.7	98.4	97.2	97.1	97.2	95.9	94.8
21	95.4	95.6	95.9	96.1	96.6	96.5	97.4	98.2	98.4	98.1	98.6	99.2
22	98.9	98.7	99.2	99.3	99.7	100.3	100.2	100.6	101.1	100.9	100.4	100.6
23	100.4	100.6	99.7	99.5	99.7	100.3	102.0	103.1	104.1	104.2	104.5	104.7
24	106.3	106.4	106.6	107.9	108.4	107.7	107.3	106.5	105.1	105.5	105.9	106.3
25	105.2	105.4	106.0	105.6	105.7	105.4	106.0	105.8	105.5	105.2	105.5	105.9
26	106.3	106.6	106.3	104.9	105.1	105.2						

・一致指数

(平成22年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
17	100.0	99.6	99.7	100.7	99.9	101.4	100.7	100.6	100.7	100.8	101.0	100.8
18	100.7	101.4	102.0	102.4	101.5	101.9	101.6	103.0	102.4	102.4	102.5	102.8
19	101.8	102.3	102.1	102.4	101.9	102.4	102.3	102.3	102.3	102.4	102.7	102.7
20	103.1	104.0	102.7	103.5	103.7	103.2	103.1	102.4	101.9	101.1	100.1	98.5
21	97.4	95.9	95.5	95.7	96.5	97.1	97.0	96.9	98.0	97.7	97.6	98.2
22	99.1	99.1	99.4	100.0	100.3	99.8	100.2	100.3	100.2	100.3	100.5	100.9
23	101.7	101.4	98.8	99.5	100.6	102.7	104.4	103.3	104.4	105.1	104.6	105.3
24	105.5	106.3	107.9	108.2	107.9	107.0	106.5	106.7	106.3	106.8	107.3	107.4
25	106.5	107.4	108.3	107.2	107.0	106.5	106.6	106.8	106.1	106.2	106.1	106.8
26	106.9	106.6	107.7	106.6	106.0	107.6						

・遅行指数

(平成22年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
17	114.1	110.7	109.5	106.2	109.6	110.2	107.8	109.2	109.5	108.8	112.0	108.9
18	106.4	107.0	107.6	107.6	109.7	110.4	108.9	108.1	110.1	108.5	106.4	105.5
19	106.8	107.7	108.7	108.9	104.2	104.6	109.9	105.9	107.9	107.5	108.4	105.6
20	108.3	107.9	107.9	110.9	108.5	108.8	110.0	106.7	107.1	108.7	106.6	107.7
21	105.9	100.5	99.3	95.3	94.9	95.2	89.7	93.4	90.5	91.5	94.1	91.1
22	94.8	96.2	97.4	100.4	102.0	100.4	100.1	102.2	103.6	101.6	100.8	100.5
23	99.7	101.8	102.3	96.9	97.3	100.9	103.8	100.4	99.2	99.0	98.9	98.9
24	102.5	105.9	110.8	112.9	118.0	115.9	118.6	117.5	123.1	124.6	123.7	127.6
25	125.4	126.2	124.0	129.0	123.7	122.7	122.9	123.7	123.6	124.7	123.2	121.5
26	122.9	122.4	123.1	121.6	120.8	122.4						

2 DI (ディフュージョン・インデックス)

(1) 概要

【先行指数】 6月は、57.1%と4ヵ月ぶりで50%を上回った。

【一致指数】 6月は、71.4%と3ヵ月ぶりで50%を上回った。

【遅行指数】 6月は、66.7%と2ヵ月ぶりで50%を上回った。

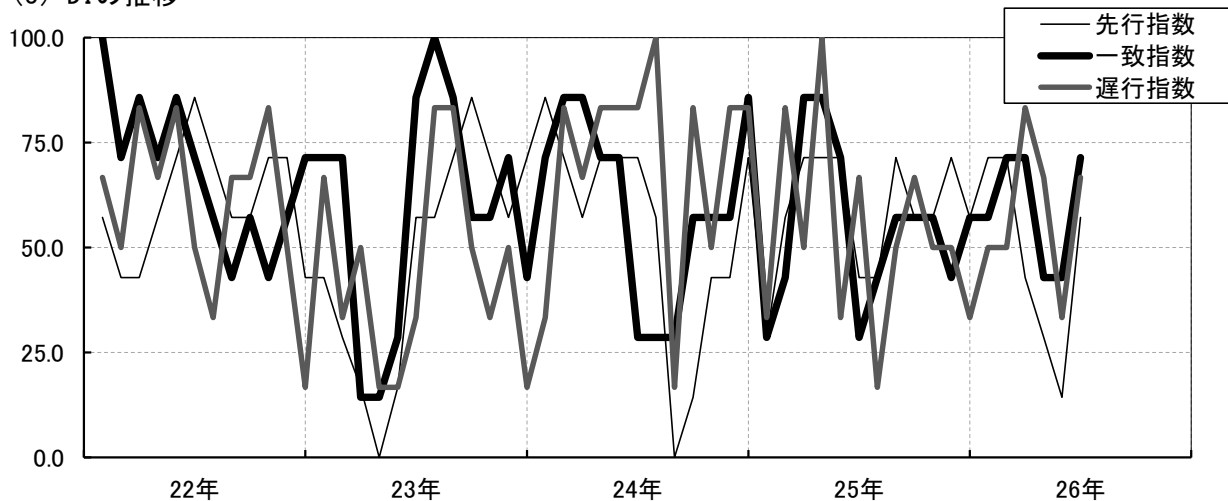
注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (景気動向指数利用の手引き-参照)

(2) DIの推移

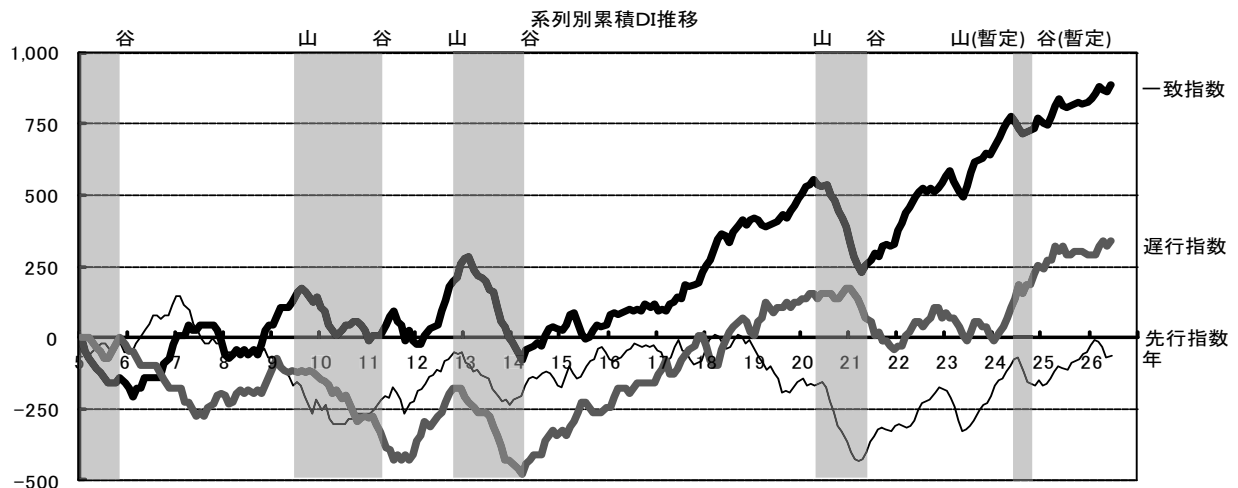
区 分	平成25年						平成26年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先行指数 (D.I)	42.9	71.4	57.1	57.1	71.4	57.1	71.4	71.4	42.9	28.6	14.3	57.1
一致指数 (D.I)	42.9	57.1	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	71.4	71.4	42.9	42.9	71.4
遅行指数 (D.I)	16.7	50.0	66.7	50.0	50.0	33.3	50.0	50.0	83.3	66.7	33.3	66.7

注) DIは、先行(7指標)、一致(7指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

(3) DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方向性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) 影の部分は国における景気後退期を示す。

【参考】景気動向指数利用の手引き

(1) 景気動向指数の概要

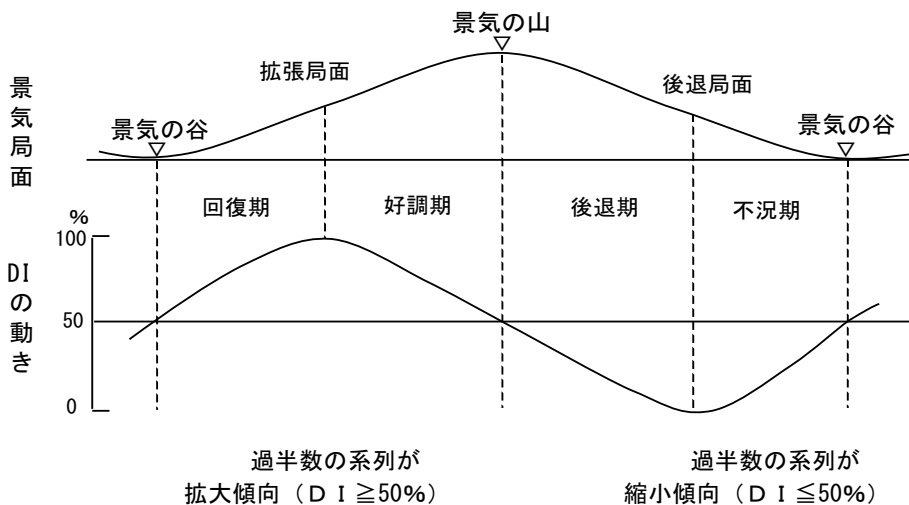
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標です。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があります。両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行います。
- C I、D Iとも、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成します。一致指数は景気の現状把握に利用します。先行指数は景気の動きを予測するために利用します。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用します。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものです。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等7つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成しています（詳しい計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.html をご参照ください）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示します。また、景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示します。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断します。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものです。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなります。たとえば、いわき市の一致指数では7つの指標を採用していますので、そのうち4つが改善したならば $4 \div 7 = 0.571 \dots$ (DI=57%) と計算します。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされています。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼びます。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されますが、国では以下のように定めています。

景気循環日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S 26. 6.	S 26. 10.	第8循環	S 50. 3.	S 52. 1.	S 52. 10.
第2循環	S 26. 10.	29. 1.	29. 11.	第9循環	52. 10.	55. 2.	58. 2.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
				第15循環	21. 3.	24.4.(暫定)	24.11(暫定)

(5) 景気動向指数採用系列の概要

項目		内容	原データの出典	
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数	季逆	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 企業倒産件数	前逆	負債総額1,000万円以上の倒産件数。景気後退期には倒産件数が増加し、景気拡大期には減少するという逆サイクルで推移する。	東京商工リサーチ
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 中小企業DI(全業種)	※	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
一致系列	1 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市商工労政課
	2 大口電力使用量	季	契約が500kW以上の電力の使用量。主として製造業の生産活動の状況が反映される。	東北電力 いわき営業所
	3 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	福島県企画調整部
	4 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	福島県企画調整部
	5 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	6 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
	7 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
遅行系列	1 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	福島県企画調整部
	2 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	3 信用保証承諾額	前	中小企業等が金融機関から融資を受けようとする際に、信用保証協会が債務保証を行う制度。	福島県信用保証協会
	4 雇用保険受給者実人員	季逆	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平
	5 手形交換高	季	手形の交換高には、企業の取引活動の活発さが反映される。	いわき手形交換所
	6 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課

注) 季：X12Aによる季節調整値、前：原数値前年同月比（倒産件数は3ヵ月移動平均値の前年同期比）、※：四半期原数値
逆：景気の上昇期に減少（低下）し、下降期に増加（上昇）するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、増加傾向にあるものの、このところ弱い動きもみられる。 ・輸出は、横ばいとなっている。 ・生産は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、弱含んでいる。 ・企業収益は、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、慎重となっているものの、改善の兆しもみられる。 ・雇用情勢は、着実に改善している。 ・消費者物価は、緩やかに上昇している。 <p>先行きについては、当面、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により一部に弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」平成26年8月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、消費税率引き上げの影響が一部に残るものの、着実に持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費……消費税率引き上げの影響が一部に残るものの、総じて堅調に推移している。 ・建設需要……公共工事及び業務用建築物着工棟数は前年を上回り、新設住宅着工棟数は前年を下回ったものの、高水準で推移している。 ・生産活動……持ち直しの動きが続いている。 ・雇用・労働…地域や業種などにばらつきがあるものの、総じて改善の動きが続いている。 ・物価……企業物価指数及び消費者物価指数は、ともに前年を上回っている。 ・企業・金融…企業倒産は、総じて落ち着いた状態で推移している。金融預金残高、貸出残高はともに前年を上回っている。 <p>(福島県「最近の県経済動向」平成26年8月公表分)</p>

2 景気動向指数 (C I)

(1) 国の動向	<p>6月のCI(速報値・平成22年=100)は、先行指数:105.5、一致指数:109.4、遅行指数:116.9となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、5ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.63ポイント下降し、5ヵ月連続の下降、7ヵ月後方移動平均は0.90ポイント下降し、4ヵ月連続の下降となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して1.8ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は1.76ポイント下降し、3ヵ月連続の下降、7ヵ月後方移動平均は0.26ポイント下降し、17ヵ月ぶりの下降となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して0.9ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.87ポイント下降し、17ヵ月ぶりの下降、7ヵ月後方移動平均は0.44ポイント上昇し、50ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」平成26年8月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>6月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H22年=100)は、先行指数113.7ポイント、一致指数157.9ポイント、遅行指数97.7ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(114.6ポイント)を0.9ポイント下回り、5ヵ月連続の下降となった。</p> <p>一致指数は、前月(154.9ポイント)を3.0ポイント上回り、3ヵ月ぶりの上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(99.4ポイント)を1.7ポイント下回り、5ヵ月ぶりの下降となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度をみると、手形交換金額(1枚当たり)が2ヵ月連続のプラス、生産指数(鉱工業)、大口電力使用量、出荷指数(鉱工業)が3ヵ月ぶりのプラスとなった。</p> <p>一方、所定外労働時間指数が3ヵ月連続のマイナス、建築着工床面積(鉱工業)が2ヵ月連続のマイナス、雇用保険受給者実人員、有効求人倍率、大型小売店販売額(既存店)が2ヵ月ぶりのマイナスとなった。</p> <p>内訳をみると、手形交換金額(1枚当たり)が3.19ポイント、大口電力使用量が2.79ポイント、生産指数(鉱工業)が1.22ポイント、出荷指数(鉱工業)が1.03ポイントであり、これらの指標が上昇に寄与した。</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」平成26年8月公表分)</p>

編集・発行 いわき市 商工観光部 商工労政課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)
F A X 0 2 4 6 - 2 1 - 0 8 9 2
e-mail : shokorosei@city.iwaki.fukushima.jp
